

「意欲的に学び、高めあい、地域から信頼され誇りに思える学校」をめざして



# 布水だより

No. 5

令和4年8月30日  
布水中学校  
校長 松田英樹

## 令和4年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について

令和4年度の「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」が、4月に3年生を対象に行われました。それらの結果が国県から返ってきましたので、本校の結果の概要と今後の学力向上の取組方針をお知らせします。

### 1 本校の結果の概要

#### (1) 教科に関する調査

全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率について、国語と数学は県と同程度で、全国を上回りました。理科は県をやや下回り、全国をやや上回りました。県基礎学力調査の本校の平均正答率について、社会は県と同程度で、英語は県をやや下回りました。

教科	全国学力・学習状況調査			県基礎学力調査	
	国語	数学	理科	社会	英語
全国平均との比較	△△	△△	△		
県平均との比較	—	—	▼	—	▼

【指標】 本校平均を全国平均・県平均と比較し、市教委の公表に準じて次の5段階で示します。

△△…5ポイント以上高い(上回る) △…2ポイント以上5ポイント未満高い(やや上回る)

— …2ポイント未満の差(同程度)

▼▼…5ポイント以上低い(下回る) ▼…2ポイント以上5ポイント未満低い(やや下回る)

#### (2) 質問紙調査結果(紙面の関係上、県との差が認められるものを一部、簡略化して紹介しています。)

##### ①肯定的な回答が県平均を上回った主な項目

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- ・1、2年生の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

##### ②肯定的な回答が県平均を下回った主な項目

- ・あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)
- ・読書は好きですか
- ・1、2年生の授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- ・学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、ICT機器を、どの程度使っていますか
- ・1、2年生の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか

## 2 本校の今後の学力向上の取組方針

### (1) きめ細かく豊かな心を育む教育の充実

- ・これまでの取組の成果で国県の割合を上回ったので、今後も生徒のよいところを認め、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦させ、困りごとや不安がある時には相談できるよう努めます。
- ・学校が楽しい生徒の割合が高まるよう（国県を下回ってはいない）、自分の良いところを自覚し友達と協力する楽しさを感じ、自分に合った教え方・教材・学習時間となるよう工夫します。
- ・本を読む大切さが生徒に伝わるよう学校では読書環境は整備するとともに読書活動を工夫しておりますので、家庭でも環境づくりに可能な範囲でご協力をお願いいたします。

### (2) 教育課程の更なる改善

- ・学力調査結果を活用して学校の実態を把握し、身に付けた知識や技能を活用する力が教科を超えて高まる教育課程へと改善を図りました。実践して振り返り、更なる改善を図ります。
- ・昨年度作成した「学びのイメージマップ」を今年度も教師が有効に活用するとともに、自ら学びを広げ深める主体的な学習となるよう、生徒による活用も促していきます。
- ・授業のまとめを自分の言葉で書く取組を継続し、書けない生徒への個に応じた指導を行います。
- ・学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）なども活用しつつ、外部人材の活用や体験的な活動を計画的に行い、生徒にとって学ぶ喜びのある授業となるよう授業改善に努めます。

### (3) 各教科等における指導法の工夫

- ・調査結果から明らかになった各教科の課題解決のため、これまでの学力向上の取組を検証し、全教職員が力を合わせて指導法の工夫を行います。紙面の都合上、一部のみ紹介します。

#### 【各教科の課題】

- 国語：場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること
- 数学：証明や反例の意味を理解すること、三角形の合同条件を理解すること
- 理科：考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善すること  
生物を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析し、解釈すること
- 社会：歴史上の事象や人物、日本列島を含む造山帯などの知識を身に付けること
- 英語：語句や文法の知識を活用して、場面や状況に応じて正しく書くこと  
言語の使用場面・働きに応じて考えや意図を伝えること

#### 【指導法の工夫】

- 国語：文学的文章で登場人物の心情の読み取りをはじめ、読むことの指導を工夫します。
- 数学：「なるための条件」で反例を取り上げることをはじめ、図形の領域の指導を改善します。
- 理科：互いの実験計画を吟味することで、必要なことを漏らさず記述する力を高めます。  
生命の領域などでは、観点と基準を明確にして判断する場を確保します。
- 社会：思考・判断・表現で活用させるなどし、生きて働く知識・技能が身に付くようにします。
- 英語：語句や文法を比較対照する場を設け、共通点や相違点を明確にして定着を図ります。  
語句や文法を自ら選択して表現する言語活動を通して、適切さを振り返る場を設けます。
- 全般：保護者の皆さまのご理解とご協力により、タブレットの夏季休業中を通じての持ち帰りを今年も実施し、サマーワーク（紙版）の分量を例年より減らすなどしてタブレットを使った課題に取り組みました。今年度に入って教師用端末が配備され、学習支援アプリも充実したので、タブレット端末を意図的・効果的に活用した授業に取り組みます。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。  
学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 黒川)

メール [fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp](mailto:fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp)